

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス つばさんわくわくフレンズ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の特性に応じた活動プログラムを、職員がアイデアを出し合い、工夫して取り組んでいる。	・全体で取り組む集団活動、小集団活動、個別活動など、それぞれの特性や適性に応じて柔軟的に提供している。	・専門的な活動システムや年間計画等を作成し、効率的に取り組めるよう整備する。
2	・保護者の皆様、学校関係者、また職員内での情報共有体制が構築されつつある。	・保護者の皆様、学校関係者との日々の情報共有を大切にするとともに、1日の支援総括を欠かさず行い、日々の支援の課題解決に役立てている。	・保護者の皆様や学校関係者との面談を定期的に行っている。またアプリや連絡帳の他、LINEやHPなどを通じて、さらなる連絡体制の強化を図っていきたい。
3	・今年度に限り少人数での支援が可能であったため、ゆとりを持ちながら、利用者一人ひとりと関わる支援が多く見られた。	・アセスメントや日々の支援状況をもとに、一人ひとりの長所や課題などを職員間で共有し、支援に繋げている。	・次年度からは利用者数も多くなるが、職員間での情報共有を密にするとともに、研鑽を重ねる中で職員一人ひとりの支援力（実践力）も高めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・会報、HP等での情報提供の機会が少なかった。	・開所初年度ということもあり、事業所全体として余裕がなく配慮も足りなかった。	・定期的に会報やホームページ等において、お子さまの様子や支援に関するアドバイス（助言）など発信していく。
2	・定期的な面談等が設定されておらず、保護者の皆様のニーズに応えるができていないのではと感じている。	・開所初年度ということもあり、事業所全体として余裕がなく配慮も足りなかった。	・半年に1回は保護者の皆様との面談を行うこととし、情報共有を密にするとともに、助言や援助できる機会を設定していく。
3	・活動スペース（訓練室）が狭く、体を動かして活動するには厳しい環境である。	・お子様には思いっきり体を動かすリフレッシュの機会を提供していきたいが、部屋自体が狭く体を動かして遊ぶ活動スペースが確保できていない。	・施設の拡充は見込めないが、公園や体育館（地域資源）を利用し、遊具遊びや鬼ごっこなどに取り組む中で、健康的な心身相関や体力面の維持・向上に繋げていく。